

面積: 116,096平方キロ

(日本の本州の約半分強/全米50州中34位)

人口: 11,785,935人 (2023年7月/全米7位)

オハイオ州概要

2024年5月現在
在デトロイト総領事館

政治

【州政治】

- 知事
マイク・ドウワイン (Mike DeWine) (共) (2019~)
- 議会構成: 二院制
・上院 33 (共和党26/民主党7)
・下院 99 (共和党65/民主党32)

【連邦政治】

- 連邦上院議員
・J.D.ヴァンス (J.D. Vance) (共)
・シェロッド・ブラウン (Sherrod Brown) (民)
- 連邦下院議員
議席数15 (共和党10/民主党5)
- 2020年大統領選挙結果
トランプ(53.3%)、バイデン(45.2%)

【内政状況】

- 都市部では民主党が、郊外では共和党が比較的優勢であり、州全体としては伝統的に共和党が強い地域である。大統領選挙ではいわゆるスイング・ステートとして注目される。
- 2020年11月の選挙においては、トランプ大統領が8ポイント差で勝利。2022年11月の中間選挙ではドウワイン州知事が圧勝し再選すると共に、連邦上院選でヴァンスが初当選し1議席を共和党が維持した。
- ドウワイン知事は、2024年4月に行われた施政方針演説において、子供政策の強化を掲げ、①幼児教育の支援、②教員養成の改善、③高等教育の支援、④子供の医療支援、⑤母親・乳児の支援等を重点施策として示した。

経済

【州経済】

- 主要産業
・農業: 穀類(大豆、トウモロコシ)
・工業: 製造業(自動車、航空機、産業機械)
- GDP: 8,727億ドル(2023年)
- 1人当たり個人所得: 66,990ドル(2022年)
- 失業率: 3.8%(2024年3月)
- 輸出額: 564億ドル、輸入額: 836億ドル(2023年)
- 輸出品目(2020年): 産業機械(19.0%)、自動車・部品(13.2%)、航空機(9.7%)
- 輸出相手国(2020年):
カナダ(38.4%)、メキシコ(11.3%)、中国(8.2%)、ブラジル(4.2%)、日本(3.4%)
- 予算: 950億ドル(2024会計年度)
- 経済状況
全米有数の工業州であり、経済の中心は、3C(中部のコロンバス、北東部のクリーブランド、南西部のシンシナティ)周辺に集中。1980年代より州中部にホンダが進出して製造と研究開発を行っており、オハイオ州の経済と雇用に貢献。2022年にはインテルとホンダが相次いでオハイオ州への大規模投資を発表。また、大豆やとうもろこし等の農業生産も盛ん。

【対日経済】

- 対日輸出額: 15.3億ドル、対日輸入額: 41.8億ドル(2020年)
- 主要輸出品目(2019年):
自動車・部品(19.0%)、産業機械(15.0%)、航空機・部品(11.8%)、電機製品(6.1%)

【日系企業の進出状況】(2023年10月)

434事業所
これらの事業所による雇用数: 68,796

日本との関係

- 全般
東京に州事務所が設置(2008年4月から外部委託)されており、2011年に設立されたJobsOhioは日系企業の誘致に積極的。日本は最大の投資国であり、ホンダをはじめとする日系企業の進出により州内の対日感情は良好。
- 要人往来(肩書は当時)
・2017年5月: ケーシック州知事(東京他)
・2018年8月: 世耕経済産業大臣(コロンバス)
・2019年9月: ドウワイン州知事(東京他)
- 文化、広報関係
オハイオ州立大学には日本研究センターが設置され、日本研究が活発に行われている。
- 在留邦人数: 10,000人(2023年10月)
- 姉妹都市(16)

オハイオ州ー埼玉県	デイトンー大磯町
セントメリーズー淡路市	マイラーー八幡市
シンシナティー岐阜市	トロイー高梁市
ミッドタウンー大崎市	ベルフォンテーンー鈴鹿市
ユークリットー檜葉町	ヴァンワートー洲本市
セライナーー南あわじ市	ライマーー播磨町
ワージントンー狭山市	トリードー豊橋市
マンズフィールドー田村市	テラウエアー酒田市

友好都市等(3)
メアリスビルー寄居町
ダブリンー益子町
フインドレーー川口市
- 日本語学習者数(2023年秋)
・大学・短大: 1,738人(20校・114コース)
・小・中・高校: 1,157人(22校)